

... (faint handwritten text) ...

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25
1 国友同、徽章をつけ左若し仕事をしてるに
2 は返迎甚極、常山幸友との二名はあつたか、証書に
3 尋ねた如く由小作、工務の三男若者がこの徽章をつけ
4 仕事をしたと云うを聴いて、一井が居たか、証書に

5 四、廿二日午前十時頃、
6 国友同、四、五の名前が幸友の末に共同署名
7 を甲込人に在るに拒絶し、左の二人が工務と定めの前に
8 高橋を立ち、備前が降取りに至つた。

9 理由、(国友同、知友と保護す、類と云ふ理由による)
10 日 野 家 記、野 家。